

指定校番号	28072	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立落合中学校	校長	小島 健作	生徒指導主事	高橋 秀昌
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『スーパーキラキラ大作戦』

取組のねらい『共感的人間関係の構築』

- ・小中学生と一緒に活動しふれあいと心の交流を深める。【共感的人間関係】
- ・中3には小学生をリードする行為で自己有用感が高まることを期待する。
- ・小学生は中学生のサポートに感謝と親近感を抱くことを期待する。

取組の具体的内容『小中連携プロジェクト、地域清掃活動』

- ・中3と小3・4が小グループをつくり、地域のゴミ拾いをする。
- ・事前に小中各校でグループをつくり、組み合わせる。
(真亀小 10 グループ 落合東小 18 グループ 落合中 28 グループ)
- ・事前に考えたゴミ拾いルートを中学生がリーダーシップをとって引率する。
- ・集合・解散は、各小学校グラウンドで行う。
- ・安全面での配慮をする。(教員の巡回、保護者への協力依頼など)



取組の創意工夫『笑顔キラキラ町はピカピカ』

- ・このスーパーキラキラ大作戦は、9年前に真亀小の子が町をきれいにするために「落合中学校のお兄ちゃんお姉ちゃんたちの力を貸してほしい」と頼みにきたことから始まりました。一緒にゴミ拾いや一緒に遊ぶことが、とても楽しかったと小学校の子ども達が喜んでくれました。今年で8回目ですが、小学生がとても楽しみにしてくれる一大イベントとなっています。
- ・両小学校の子どもたちと一緒にする唯一の行事となりました。
- ・児童に中学校入学後のビジョンを持たせることで、いわゆる中1ギャップを解消し、円滑に中学校生活に移行できるようにするため、児童と生徒の交流を深めるように仕組む。
- ・町をきれいにすることを通じて、勤労・奉仕の態度を養うとともに、中学生が、小学生の見本となることで、自己存在感を感じることが期待される。



取組の成果（効果）『小学生も中学生も安心感をもてるように！』



- ・地域の美化ボランティア活動として、落合中学校区にアピールすることができた。
- ・スーパーキラキラ大作戦の目的と清掃計画を知り、生徒自ら地域清掃活動計画を考えることができた。
- ・スーパーキラキラ大作戦で小学生と仲良くする術（コミュニケーションスキル）を身に付けることができた。
- ・事前に小学生が挨拶に来て、事後には、関わった小中学生が書いた「感謝の手紙」の交流ができた。

感謝の手紙」の交流ができた。

今後の展開『色々な行事で小中交流を推進する！』

スーパーキラキラ大作戦を皮切りに、毎年ではあるが地域のフレンドリーコンサート（落合中学校区の保育園から高校までの音楽発表会）・落合中学校合唱祭に行く3年生全体合唱の小学校での出前合唱などを行い、交流している。また、夏休みに小学生1・2年生の宿題のお手伝いとして、「サマースタディーサポート」のボランティアを行っている。今後もこれらの取り組みを推進していき、共感的な人間関係の確立と中学生の自己有用感を持つことのできる取組を進めていきたい。

他校へのアドバイス『小学校との事前打ち合わせをしっかりと！』

- ・スーパーキラキラ大作戦は、小学生と共に地域に出向いて清掃活動をするので、安全面を考慮して事前に打ち合わせを丁寧に行うことが大切です。また時間設定も無理のないように、小学生が集中して取り組めるように授業時間と合わせて行動できるように配慮することも大切です。

